

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県地方独立行政法人神戸市民病院機構 西市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	28	対象	透訓	救臨感地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	28,813	非該当	非該当	7：1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
358	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	358
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
356	-	356

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

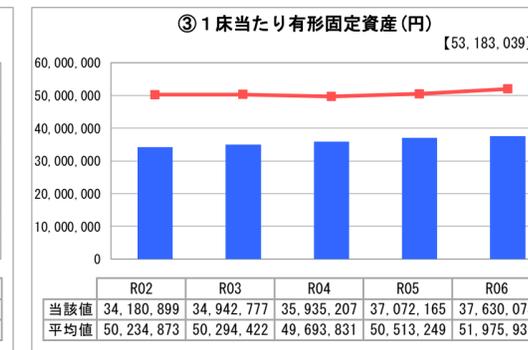
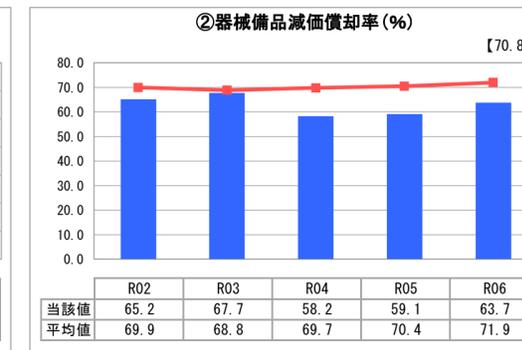
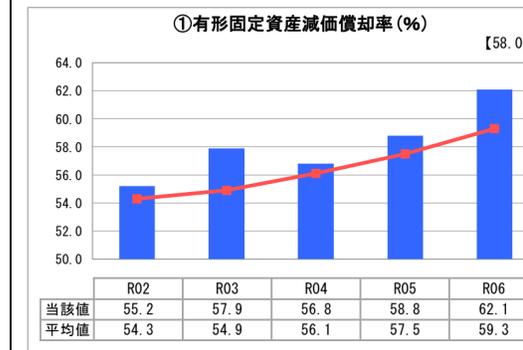
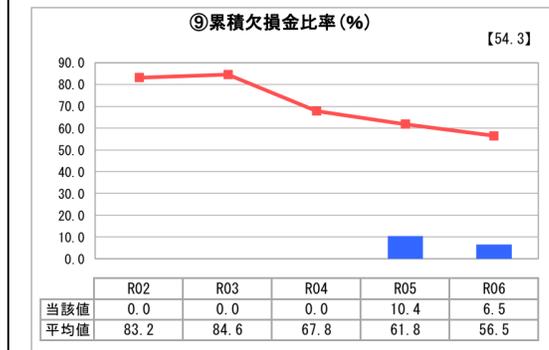
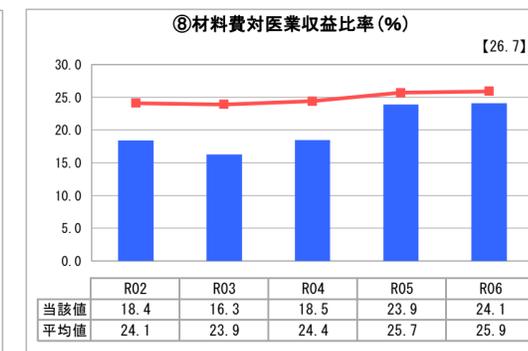
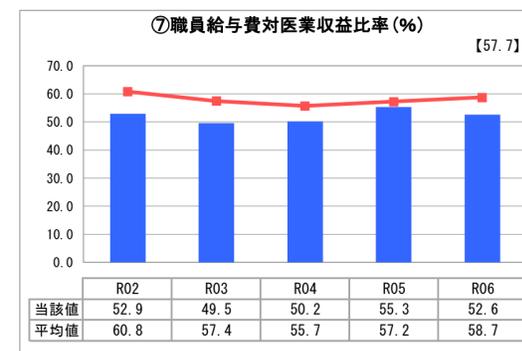
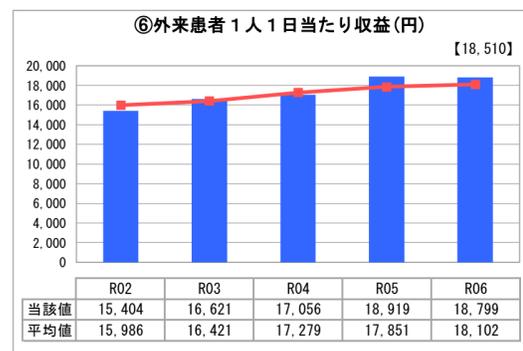
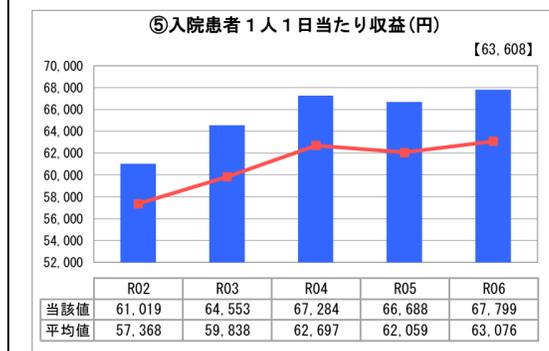
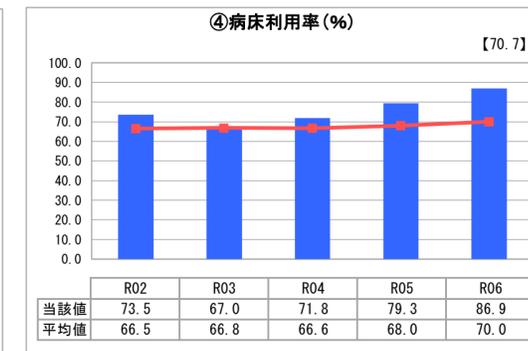
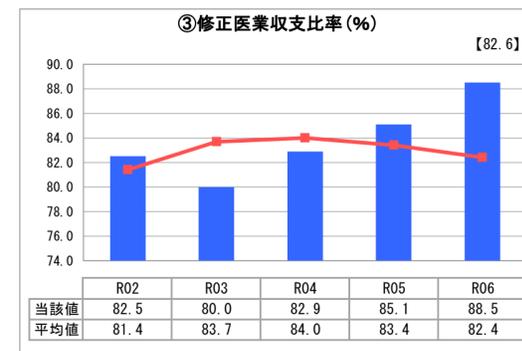
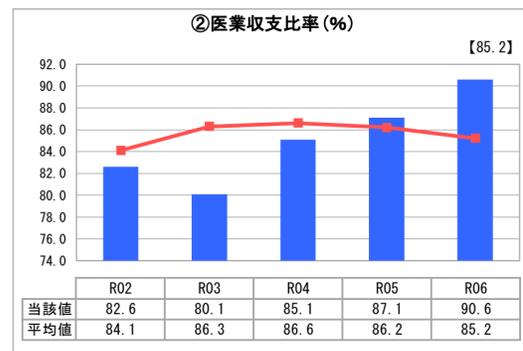
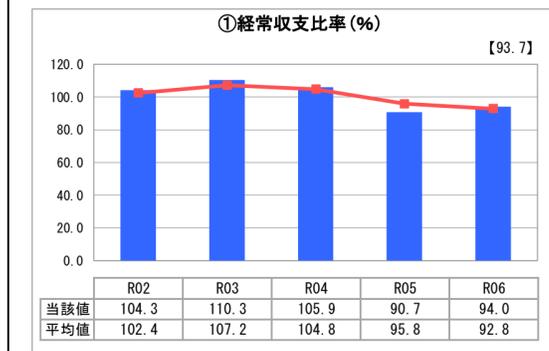
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### 1. 経営の健全性・効率性



### 2. 老朽化の状況

## I 地域において担っている役割

市街地西部の中核病院として、救急医療・急性期医療を担い、24時間365日市民の生命と健康を守る役割を担っている。また、在宅医療支援を含めた地域社会との連携を図り、地域医療支援病院としての役割も担っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

年度前半は入院・外来とも患者数が低調であったが、救急車応需の向上に努め過去最高となる搬送件数となり、医師同行での診療所訪問による集患対策や、DPC期間Ⅱを意識したベッドコントロール等に取り組んだ結果、年度後半にかけて回復傾向となった。また、上記取組により手術件数も増加したことなどにより診療単価も増加した。一方で、患者数増に伴う材料費の増加に加え、人件費・物価高騰の影響を受けて給与費や委託費、光熱水費等の経費が増加した。様々な経営改善の取組により医業収支は前年度比で好転したものの、経常損益としては赤字となった。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は平均値を上回っている。病院建物は本館は築後25年、北館は築後33年が経過していることから、維持管理に努めており、今後も建物改修、設備更新を計画的に行っていくこととしている。器械備品減価償却率は、画像システムの更新などに伴い、整備した機器の減価償却が進んだことから前年比に比べ上昇した。

## 全体総括

令和6年度においても、新型コロナウイルス感染症対応に伴う診療制限の影響があり、入院・外来ともに患者数の確保が困難な状況が続いた。地域医療機関との連携の強化など経営改善策を講じた結果、年度後半には患者数に回復傾向が見られたものの、エネルギー価格の高騰や物価動向に伴う経費等の大幅な増高等により医薬品費を中心に医業費用の増加は著しく、徹底した価格交渉など経費削減を進めたものの、医業費用は前年度を上回り、厳しい経営環境が続いている。そのため、持続可能な病院経営の実現に向けて、3か年以内に単年度黒字の達成を目指し、収益面においては、患者数の早期回復等に注力し、費用面においては、委託費等の固定費を含めた徹底的な経費削減に取り組むこととしている。特に費用面においては、委託業務を中心に他院比較を行いながら、事業者とも協議のうえ、業務内容の見直しを進めているほか、後発医薬品の積極的な活用や診療材料等の調達方法の見直しなども、あらゆる観点から経費削減に取り組んでいる。また、職員体制についても、抜本的な事務の見直し及び運営体制の最適化に取り組み、今後もより一層の経営改善を図っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。